

新型コロナウイルス感染症に伴う 病院小児科の影響調査 (2次調査概要)

日本小児科学会 社会保険委員会／情報管理委員会

調査概要

- 実施時期：2020年 12月から 2021年2月
- 対象：小児科標榜2,519施設 回答数 646施設
- 回答方法：調査票を郵送、Excel[®]若しくは紙回答

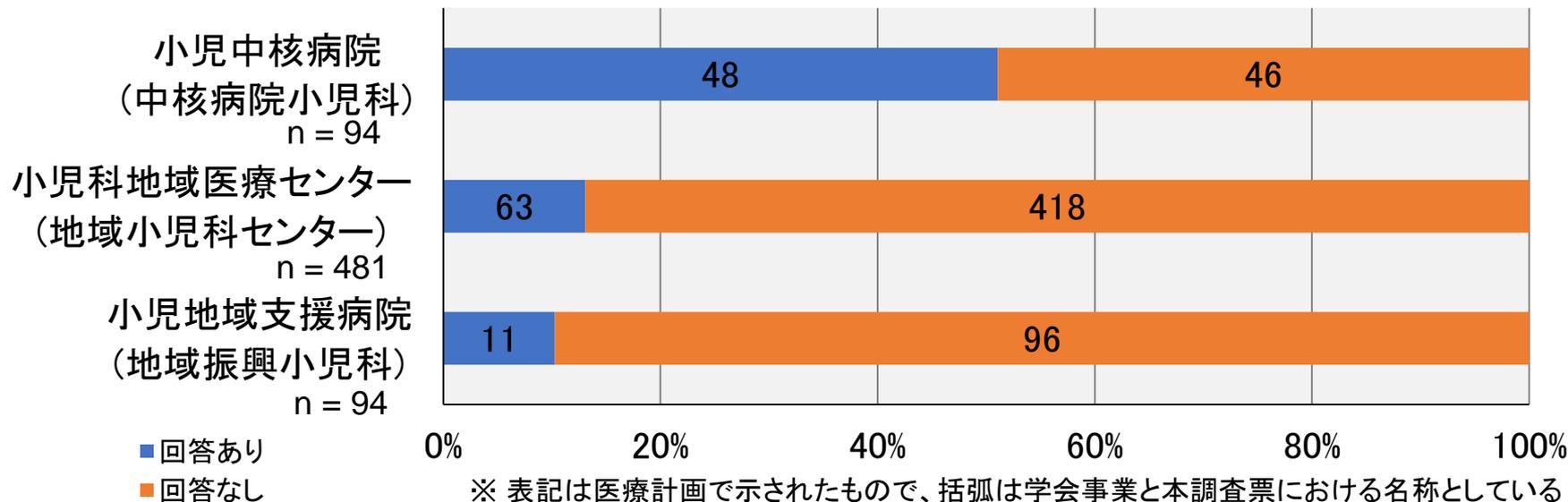
都道府県別回答数

都道府県	回答数	地域
北海道	28	北海道 28
岩手県	6	東北
青森県	7	48
宮城県	13	
秋田県	7	
山形県	8	
福島県	7	
茨城県	17	関東
栃木県	7	168
群馬県	13	
埼玉県	26	
千葉県	23	
東京都	51	
神奈川県	31	

都道府県	回答数	地域
新潟県	11	中部
富山県	8	123
石川県	12	
福井県	2	
山梨県	8	
長野県	17	
岐阜県	13	
静岡県	17	
愛知県	35	
三重県	8	近畿
滋賀県	12	120
京都府	20	
大阪府	42	
兵庫県	24	
奈良県	8	
和歌山県	6	

都道府県	回答数	地域
鳥取県	1	中国
島根県	7	46
岡山県	14	
広島県	17	
山口県	7	
徳島県	9	四国
香川県	8	35
愛媛県	12	
高知県	6	
福岡県	23	九州
佐賀県	8	78
長崎県	10	
熊本県	8	
大分県	9	
宮崎県	7	
鹿児島県	5	
沖縄県	8	
総計	646	

施設背景 都道府県における位置づけ(小児)

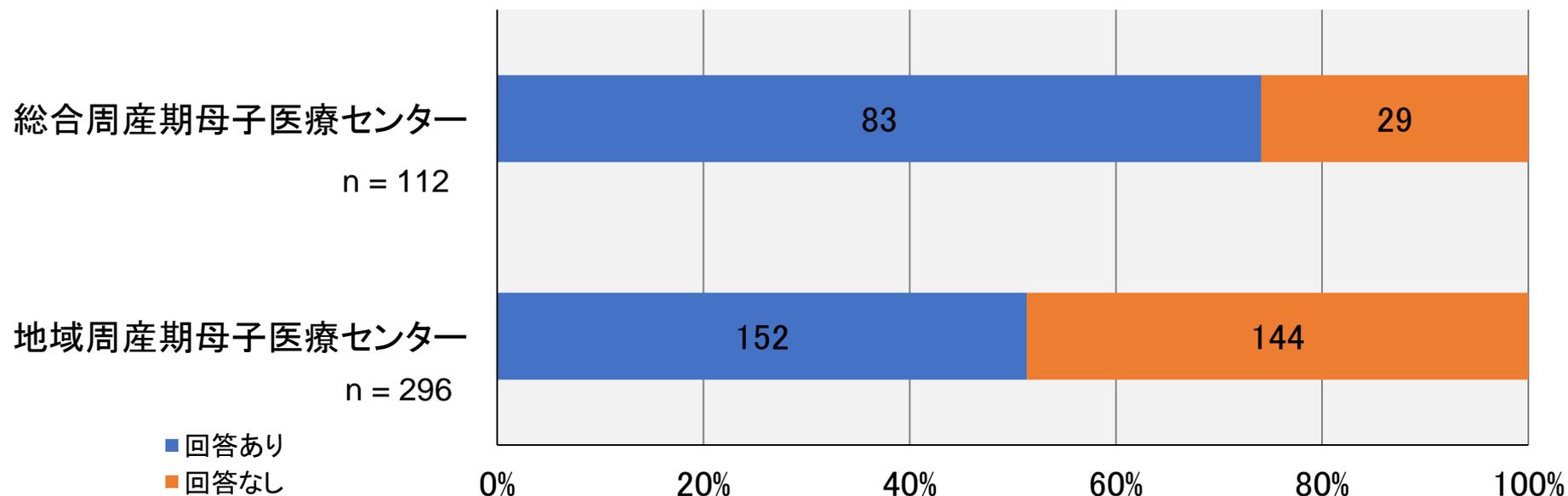


注) 小児中核病院、小児科地域医療センターならびに小児地域支援病院は都道府県が医療提供体制として整備する基準とする医療計画において指定されている。これらの医療機関は主として地域の三次医療、二次医療ならびに一次医療を担当している。

それぞれの役割については厚生労働省の医療計画(疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について-小児医療の体制構築にかかる指針(平成29年3月31日厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(令和2年4月13日一部改正))を参照のこと

URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/000622627.pdf>

都道府県における位置づけ(周産期)

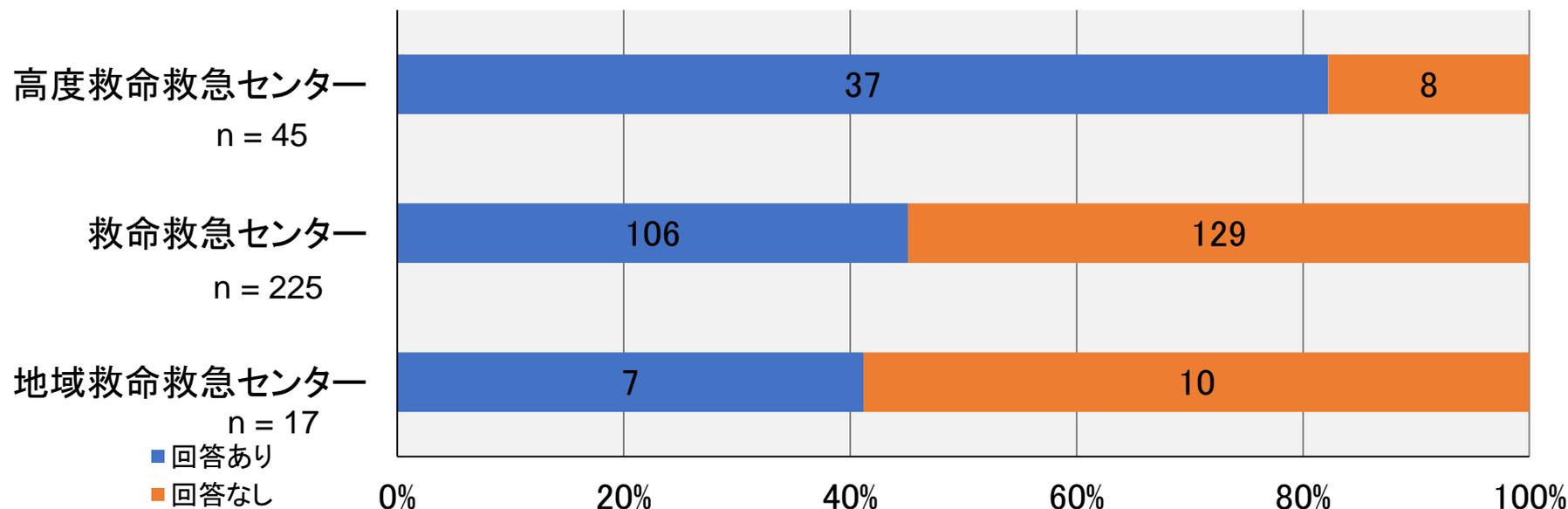


注) 総合周産期母子医療センターならびに地域周産期母子医療センターは都道府県が医療提供体制として整備する医療計画のうち、周産期医療における拠点病院として指定している。これらの医療機関は主に地域の三次医療ならびに二次医療を担当している。

それぞれの役割については厚生労働省の医療計画(疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について-周産期医療の体制構築にかかる指針(平成29年3月31日厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(令和2年4月13日一部改正))を参照のこと

URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/000622627.pdf>

都道府県における位置づけ(救急)



注) 救命救急センターは都道府県が医療提供体制として整備する医療計画のうち、救急医療における拠点病院として指定している。これらの医療機関は主に地域の三次医療を担当している。なお、高度救命救急センターは救命救急センターの中でも広範囲熱傷、指趾切断や急性薬物中毒に対応できるように整備され、地域救命救急センターは小規模で既存の救命救急センターの機能を補完するために整備された施設である。

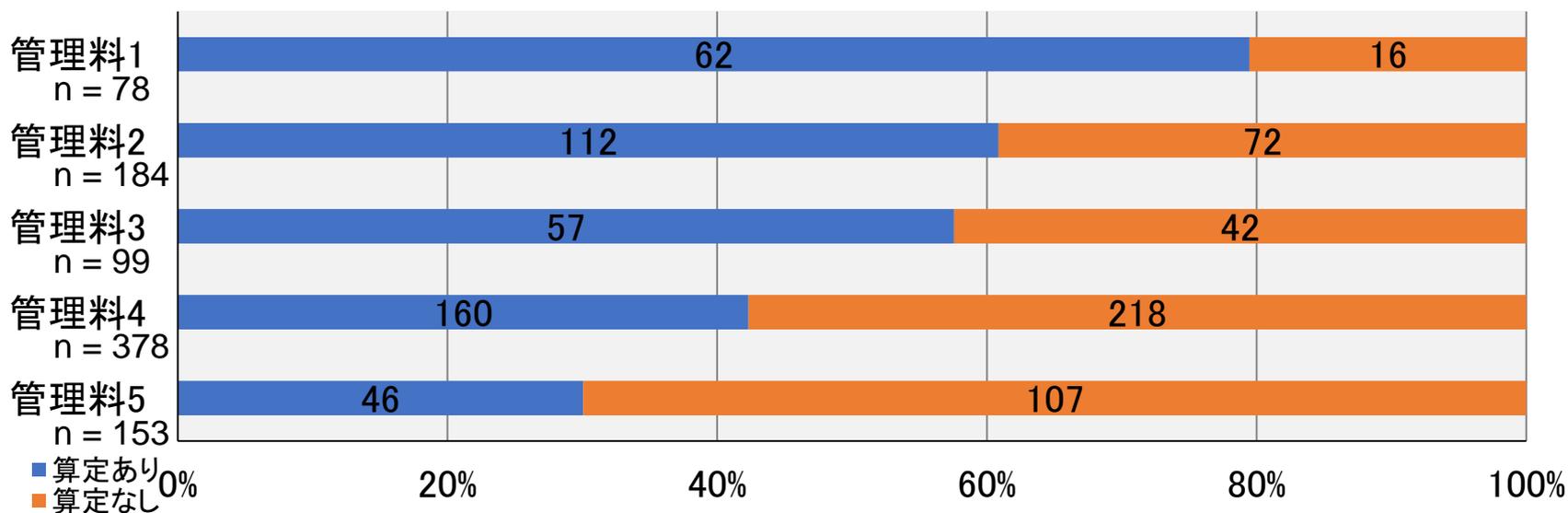
それぞれの役割については厚生労働省の医療計画(疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について-救急医療の体制構築にかかる指針(平成29年3月31日厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(令和2年4月13日一部改正))を参照のこと

URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/000622627.pdf>

特定入院料(小児)

小児入院医療管理料

種別	回答数	算定施設数 (厚生局公表 2020年1月)	全回答に占める割合
管理料1	62	78	9.6%
管理料2	112	184	17.3%
管理料3	57	99	8.8%
管理料4	160	378	24.8%
管理料5	46	153	7.1%
算定なし	194	確認不可	30.0%
未回答	15		2.3%
総計	646	892	100.0%



特定入院料 (小児救急・周術期)

救命救急入院料

入院料1	66	10.2%
入院料2	10	1.5%
入院料3	26	4.0%
入院料4	32	5.0%
算定なし	492	76.2%
未回答	20	3.1%
総計	646	100.0%

特定集中治療室管理料

管理料1	59	9.1%
管理料2	27	4.2%
管理料3	67	10.4%
管理料4	24	3.7%
算定なし	432	66.9%
未回答	37	5.7%
総計	646	100.0%

小児特定集中治療室管理料

算定あり	9	1.4%
算定なし	618	95.7%
未回答	19	2.9%
総計	646	100.0%

特定入院料(新生児)

新生児特定集中治療室管理料

管理料1	97	15.0%
管理料2	85	13.2%
算定なし	447	69.2%
未回答	17	2.6%
総計	646	100.0%

新生児治療回復室入院医療管理料

算定あり	139	21.5%
算定なし	491	76.0%
未回答	16	2.5%
総計	646	100.0%

特定入院料に関する補足事項

- 小児入院医療管理料

小児科病棟での診療に対する入院料

- 救命救急入院料

救命救急センターでの診療に対する入院料

- (小児)特定集中治療室管理料

(P)ICUでの診療に対する入院料

- 新生児特定集中治療室管理料

- 新生児治療回復室入院医療管理料

NICUならびにGCUでの診療に対する入院料

※ これらの入院料は、資源投入が多い領域の診療に対する人件費や技術に対する評価を含んだ評価として、施設ならびに患者要件を満たしていることを条件に一般の入院料と比べて高い診療報酬点数が与えられている。

COVID-19診療への関与

感染症指定医療機関	回答数	全回答に占める割合
指定医療機関である	187	28.9%
指定医療機関でない	436	67.5%
未回答	23	3.6%
総計	646	100.0%

新型コロナウイルス感染症患者受入

小児のみ	8	1.2%
成人のみ	98	15.2%
成人小児共に	321	49.7%
受け入れなし	140	21.7%
未回答	79	12.2%
総計	646	100.0%

都道府県による重点医療機関・協力医療機関の認定

重点医療機関	277	42.9%
協力医療機関	214	33.1%
指定なし	128	19.8%
未回答	27	4.2%
総計	646	100.0%

COVID-19の影響(施設)

新型コロナウイルス感染症の影響による小児病床数	回答数	全回答に占める割合
期間中に増減があった	12	1.9%
増加した	3	0.5%
減少した	87	13.5%
不変	488	75.5%
未回答	56	8.7%
総計	646	100.0%

新型コロナウイルス感染症流行の影響による診療抑制	回答数	全回答に占める割合
実施あり	378	58.5%
実施なし	199	30.8%
未回答	69	10.7%
総計	646	100.0%

2020年4月～11月の診療報酬上の施設基準について	回答数	全回答に占める割合
変化なし	578	89.5%
満たさなくなった・(あるいはその見込)	50	7.7%
未回答	18	2.8%
総計	646	100.0%

COVID-19の影響(人員)

2020年4月～11月の小児科医師の削減	回答数	全回答に占める割合
削減あり	30	4.6%
削減なし	602	93.2%
未回答	14	2.2%
総計	646	100.0%

2020年4月～11月の小児科看護師の削減 (病棟・外来含む)	回答数	全回答に占める割合
削減あり	68	10.5%
削減なし	563	87.2%
未回答	15	2.3%
総計	646	100.0%

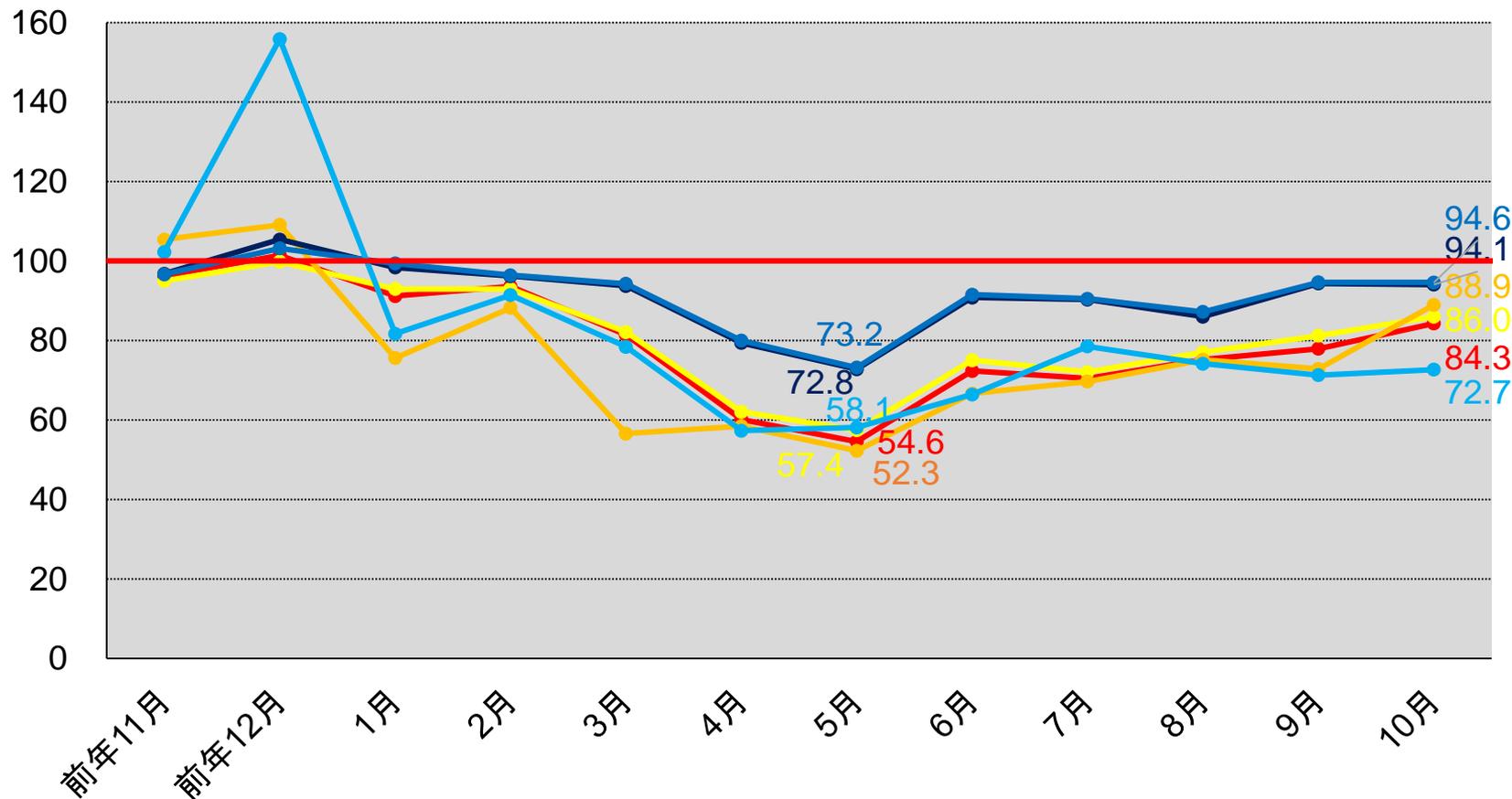
COVID-19と子どもたち

2020年4月～10月の小児の虐待対応件数	回答数	全回答に占める割合
増加	68	10.5%
減少	23	3.6%
不変	347	53.7%
不明	150	23.2%
未回答	58	9.0%
総計	646	100.0%

2020年4月～10月の不登校を主訴に来院した患者数	回答数	全回答に占める割合
増加	170	26.3%
減少	14	2.2%
不変	231	35.8%
不明	173	26.8%
未回答	58	9.0%
総計	646	100.0%

患者数の推移

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数

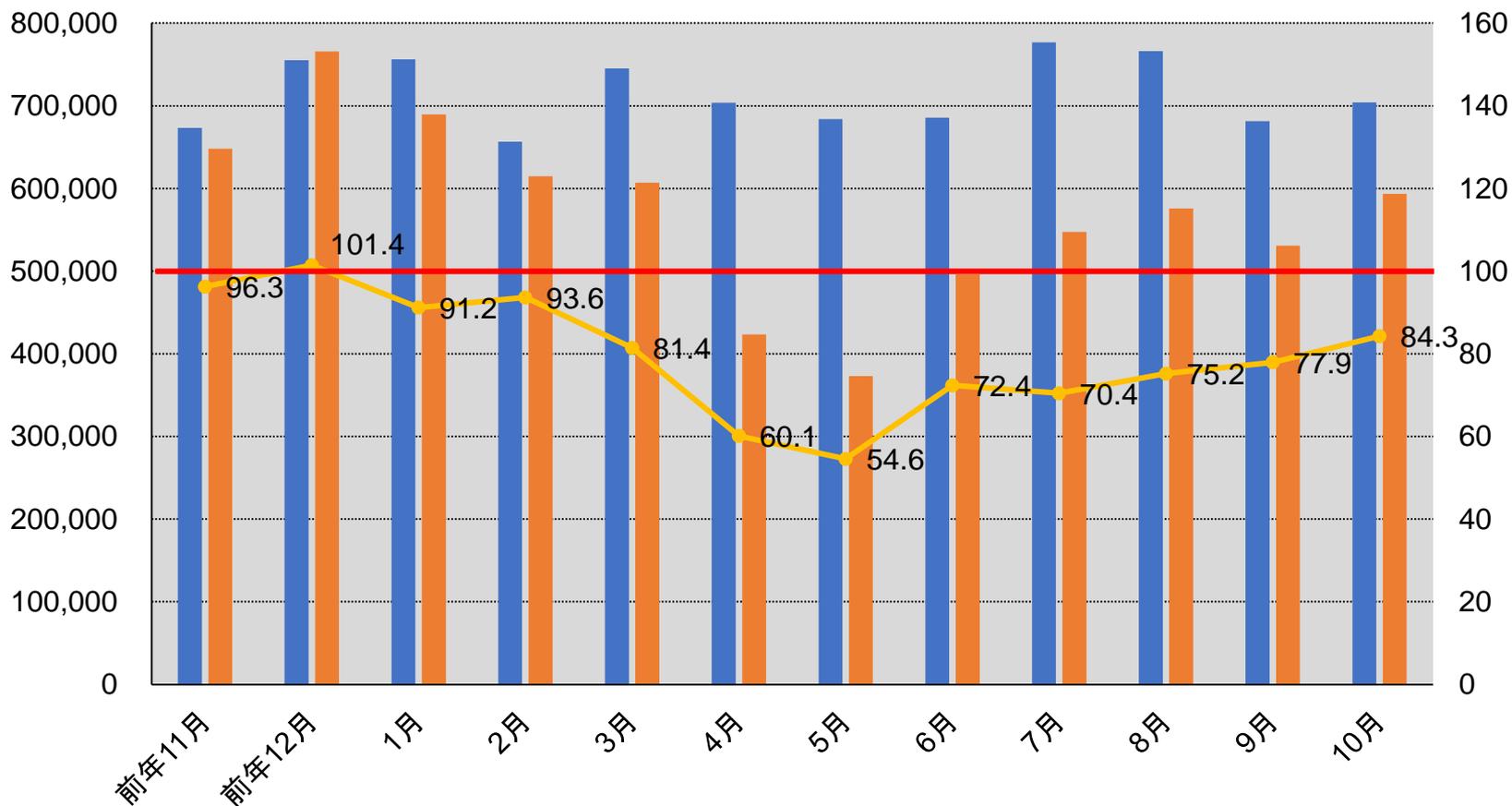


● 小児科総外来患者数 n=631 ● 小児科診療時間内 n=618 ● 小児科診療時間外 n=605
● 病院全体外来患者数 n=621 ● 病院全体診療時間内 n=621 ● 病院全体診療時間外 n=612

小児科総外来患者数

患者数

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



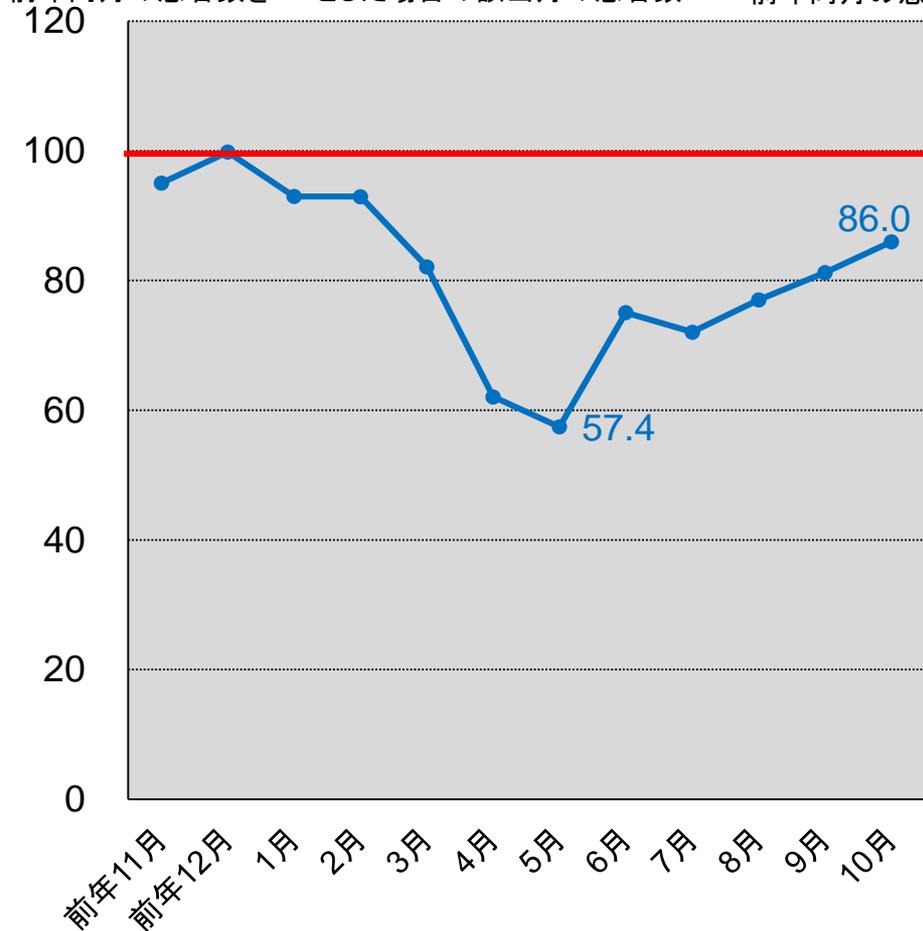
■ 2019年 ■ 2020年 ● 増減指数

n=631

時間帯別小児科外来患者数

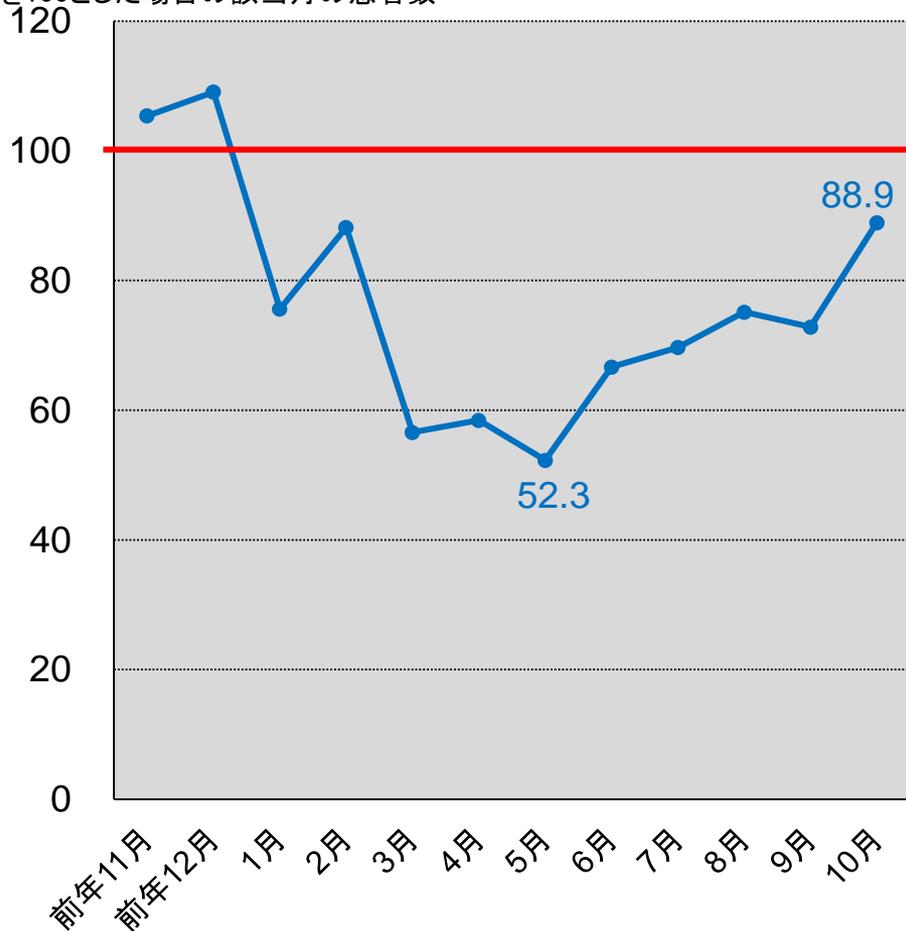
時間内 n=618

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



時間外 n=605

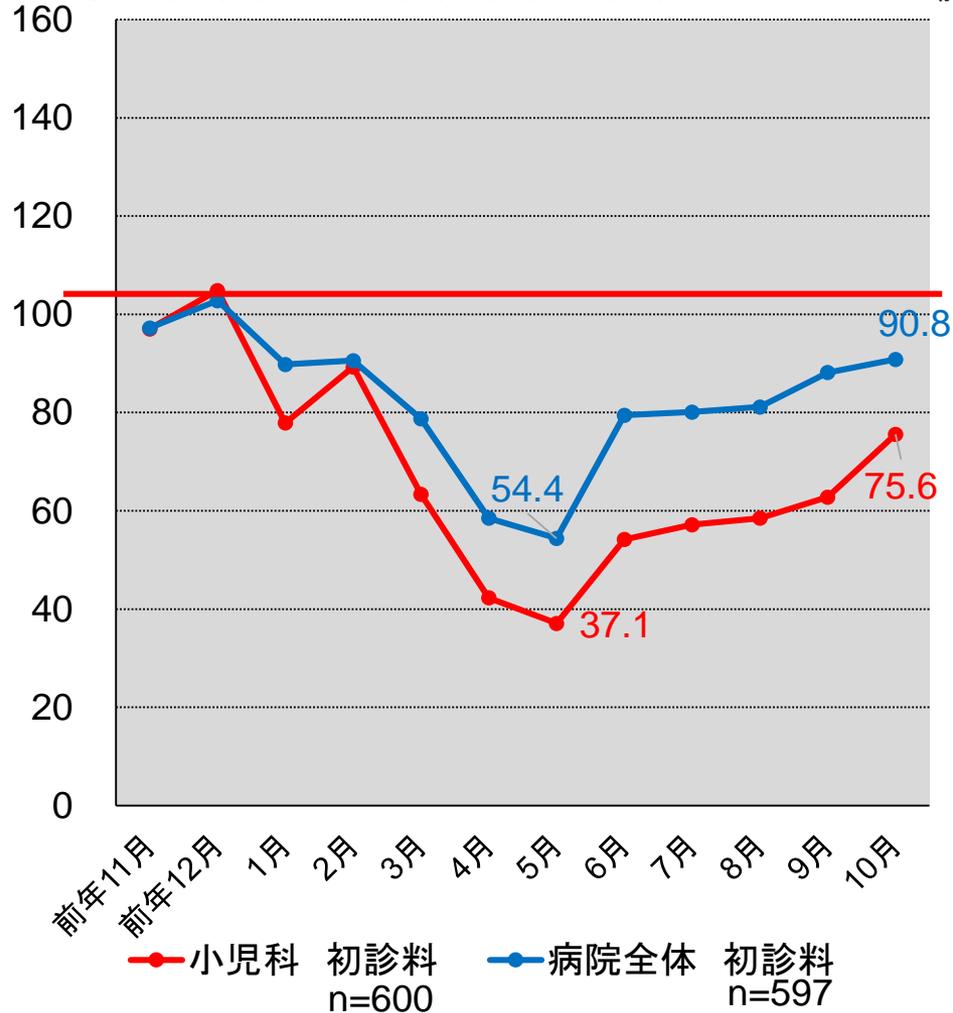
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



初診料・再診料

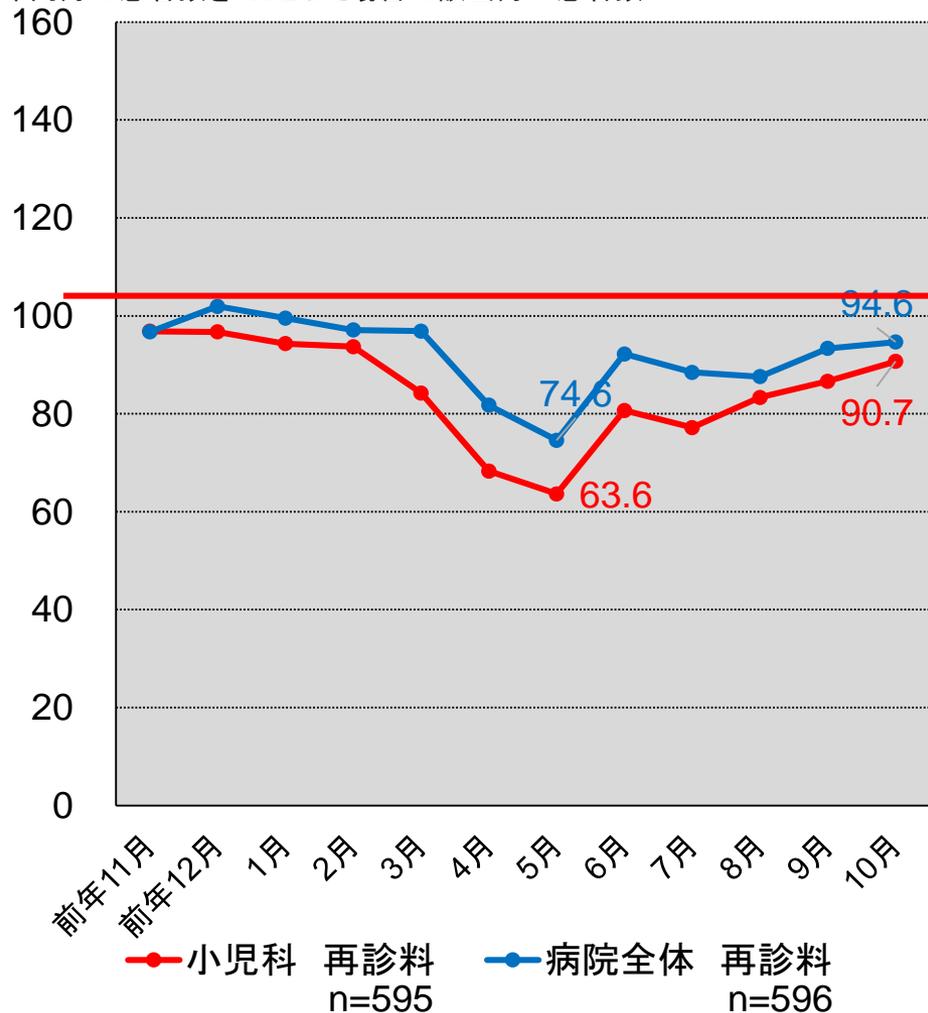
初診料

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



再診料

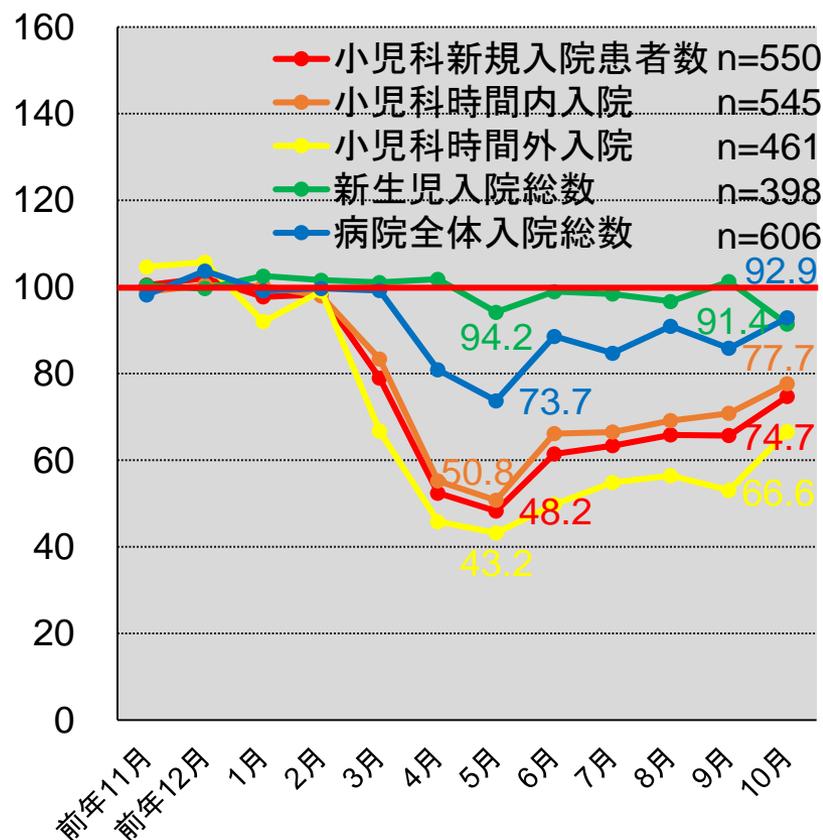
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



入院患者数と平均在院日数

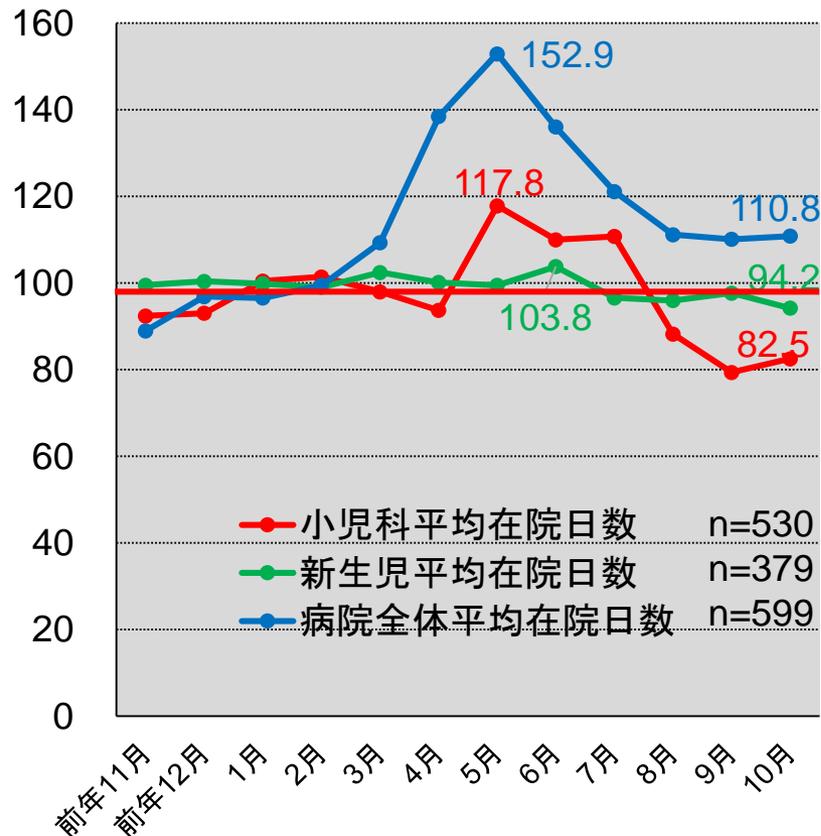
入院患者数

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



平均在院日数

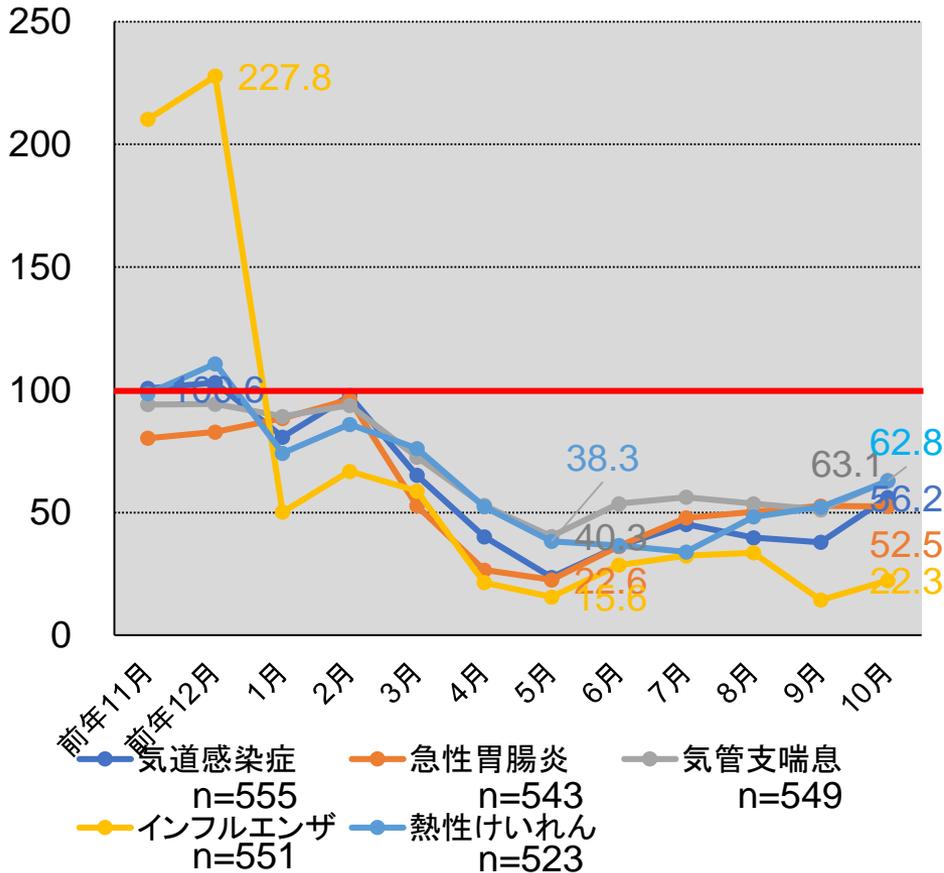
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



レセプト病名

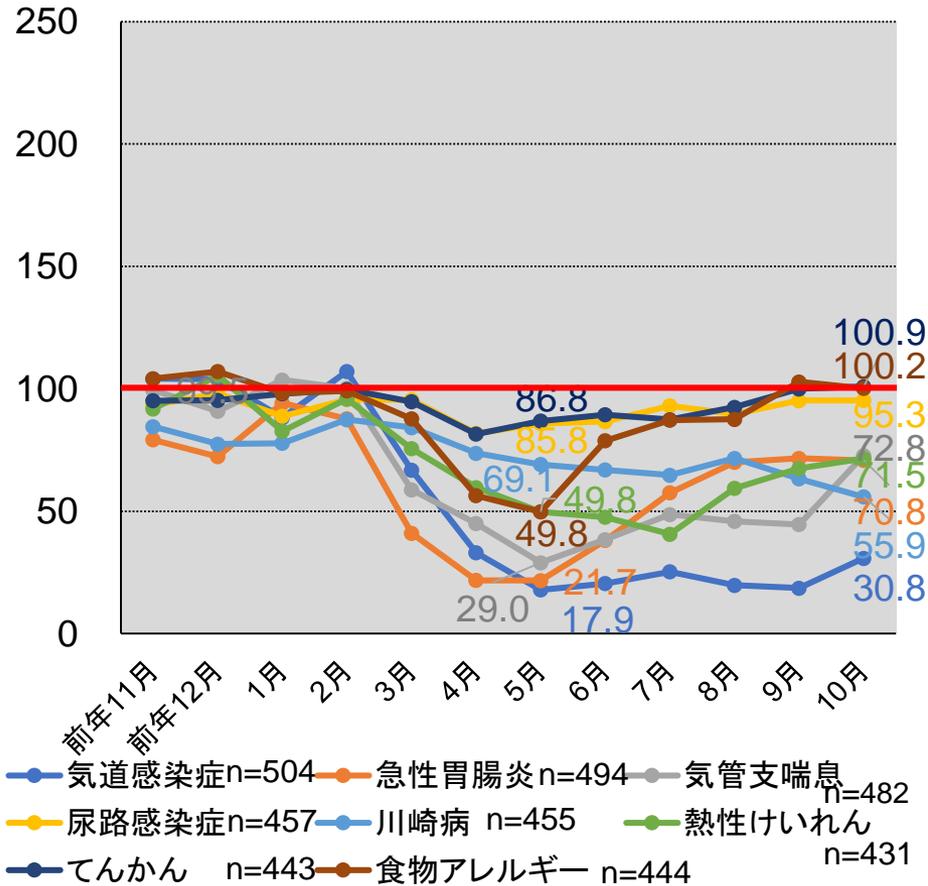
外来

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



入院

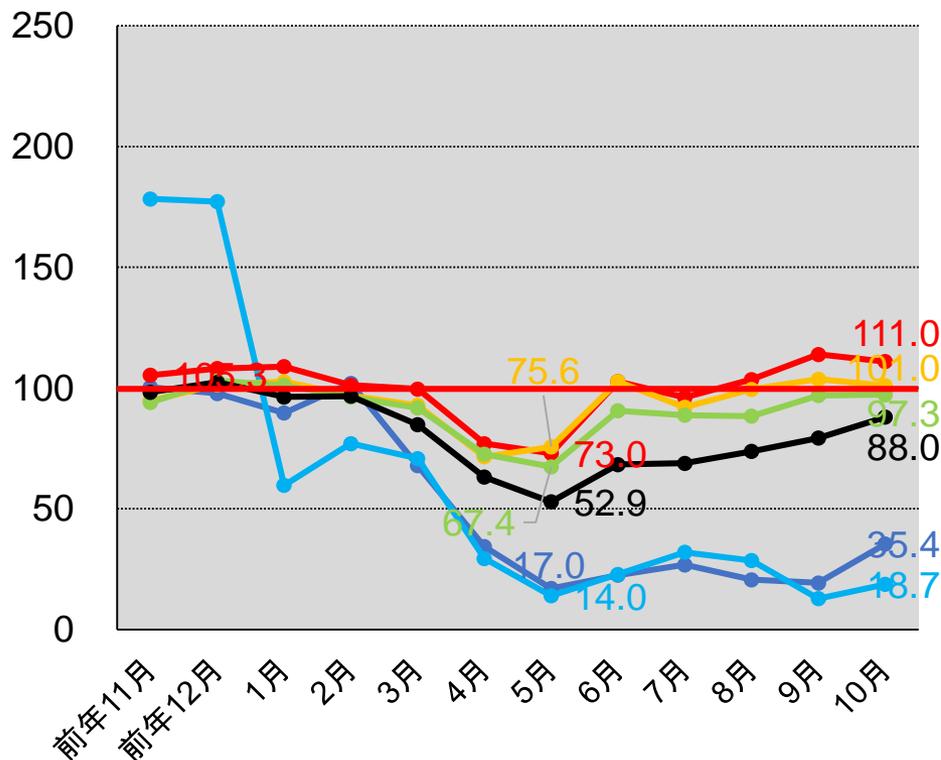
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



個別算定項目

内科系

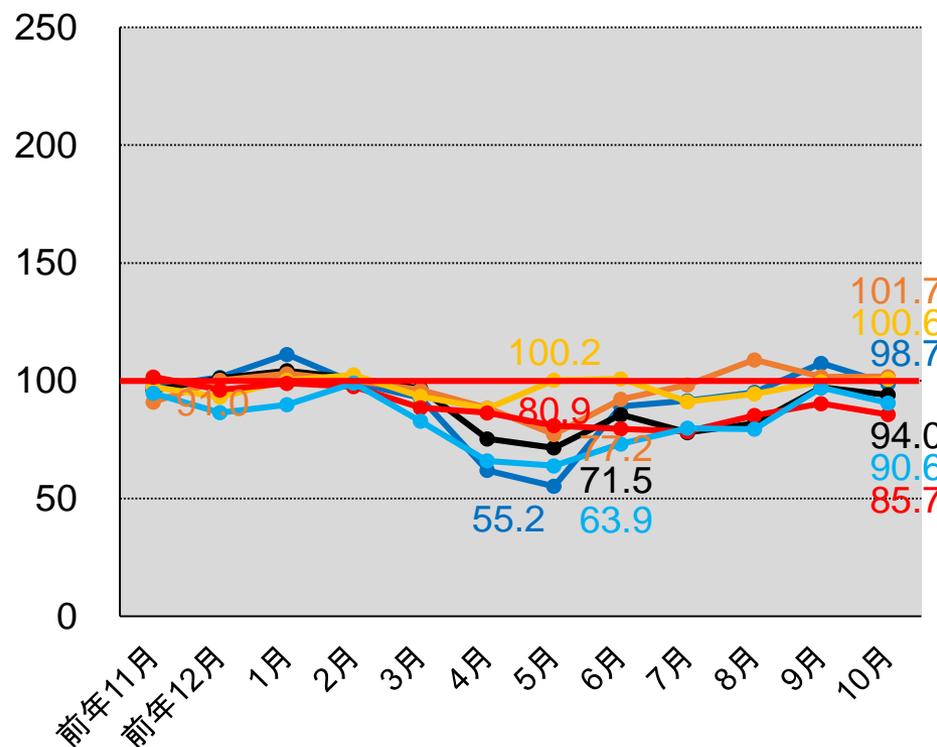
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



- RSウイルス抗原定性 n=555
- インフルエンザ抗原定性 n=584
- 小児特定疾患カウンセリング料 n=420
- 小児科療養指導料 n=411
- リハビリテーション料 0-14歳 n=473
- 診療情報提供料(I) n=578

アレルギー・外科系

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



- 食物経口負荷試験 n=349
- 手術件数 0-14歳 n=509
- 骨折観血的整復術 n=407
- 開腹/腹腔鏡下虫垂切除術 n=430
- 腸重積症整復術 n=285
- 鼠径ヘルニア手術 n=600

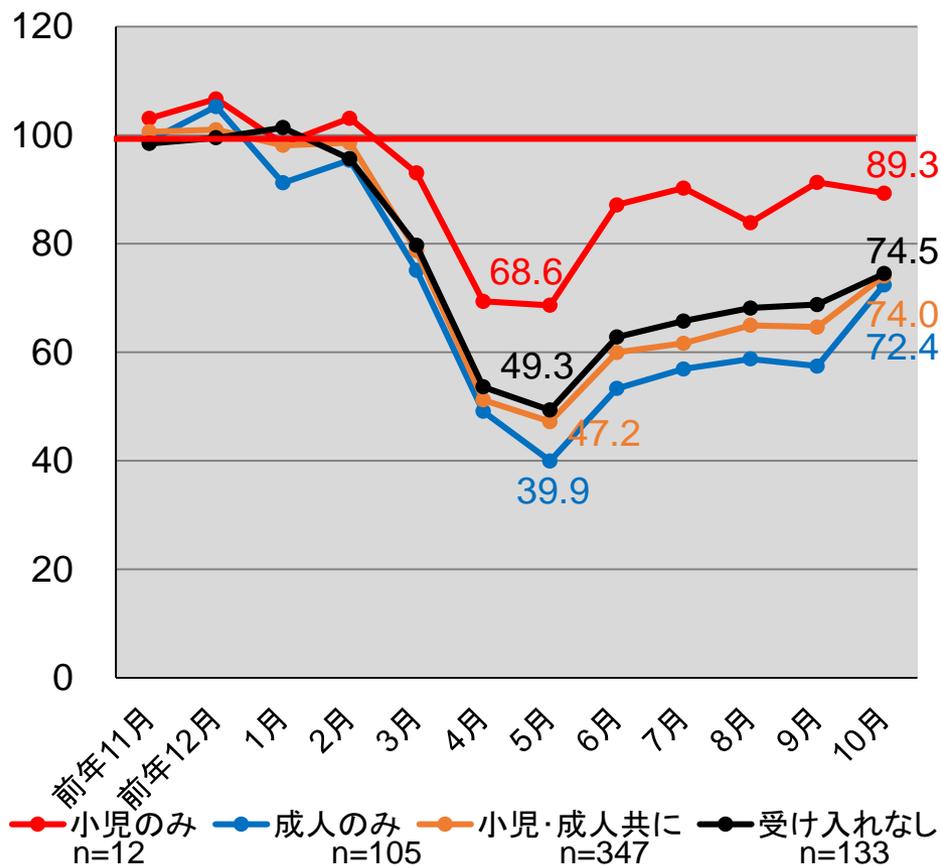
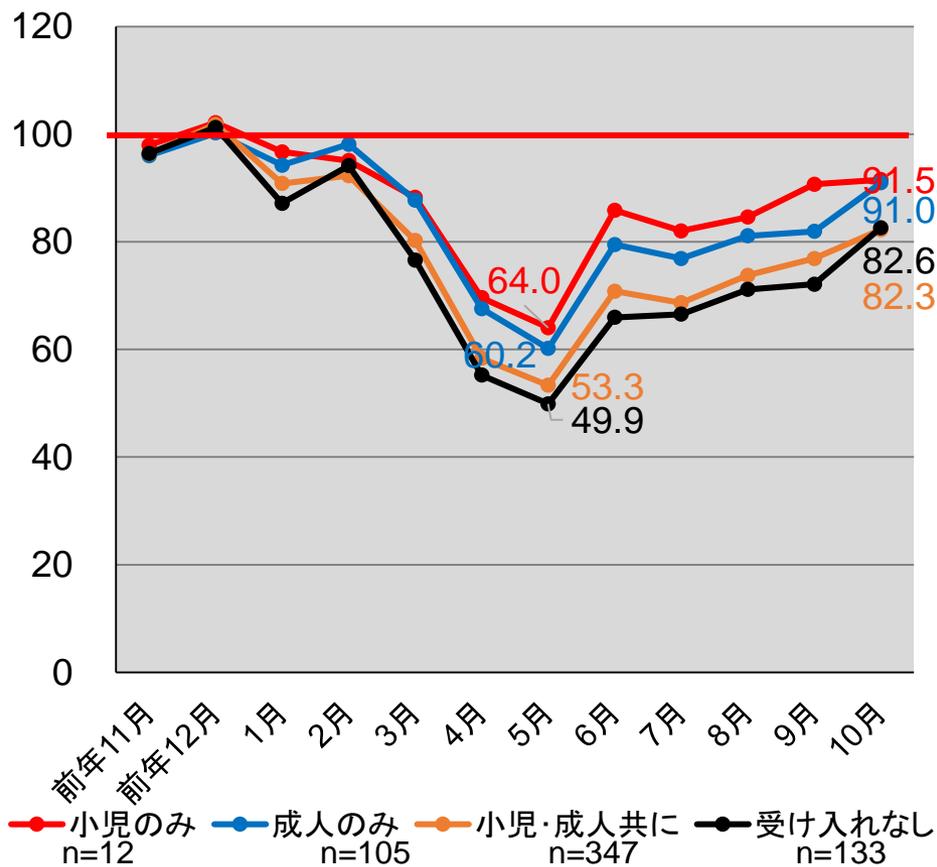
新型コロナウイルス感染症 患者の受入状況と患者数

外来

入院

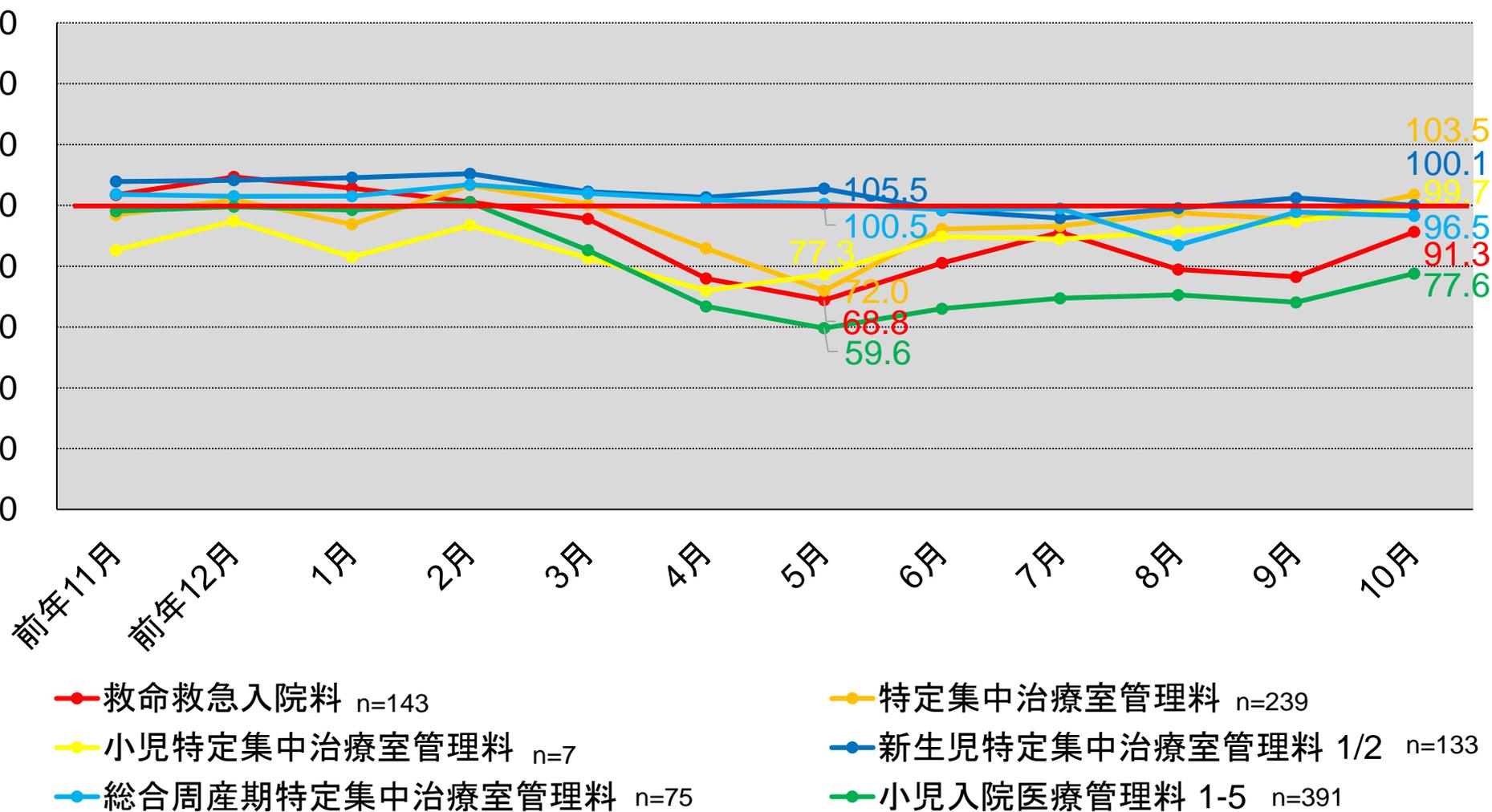
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



特定入院料

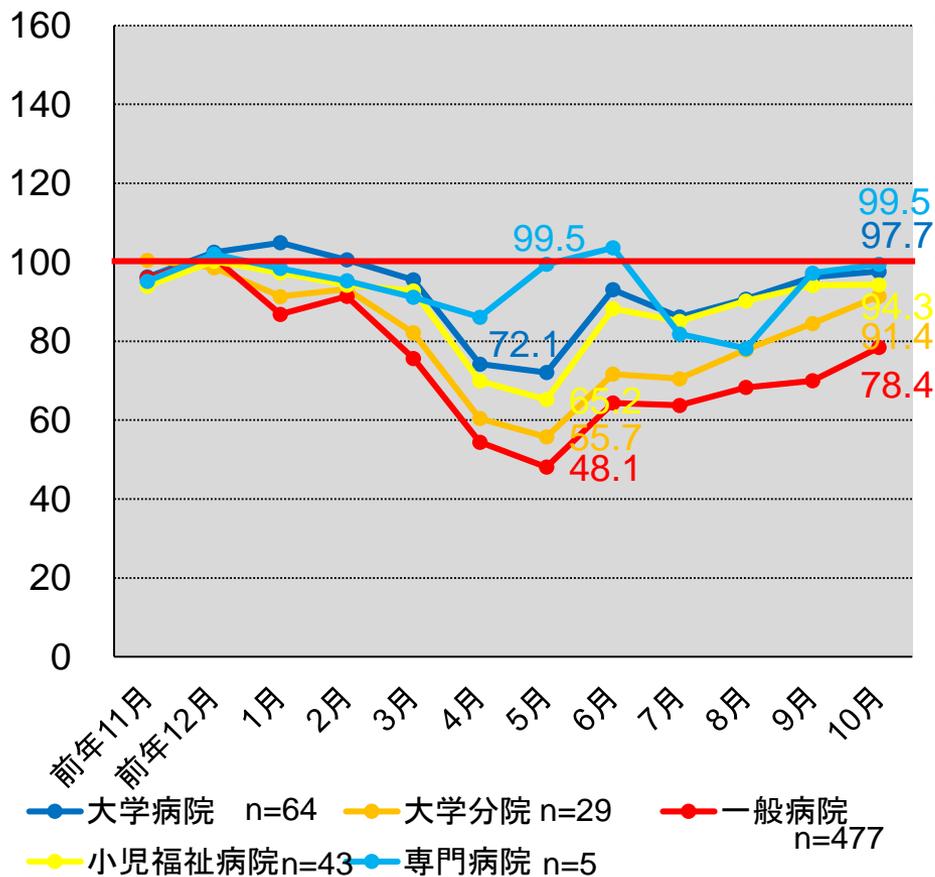
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



病院機能による分類と患者数

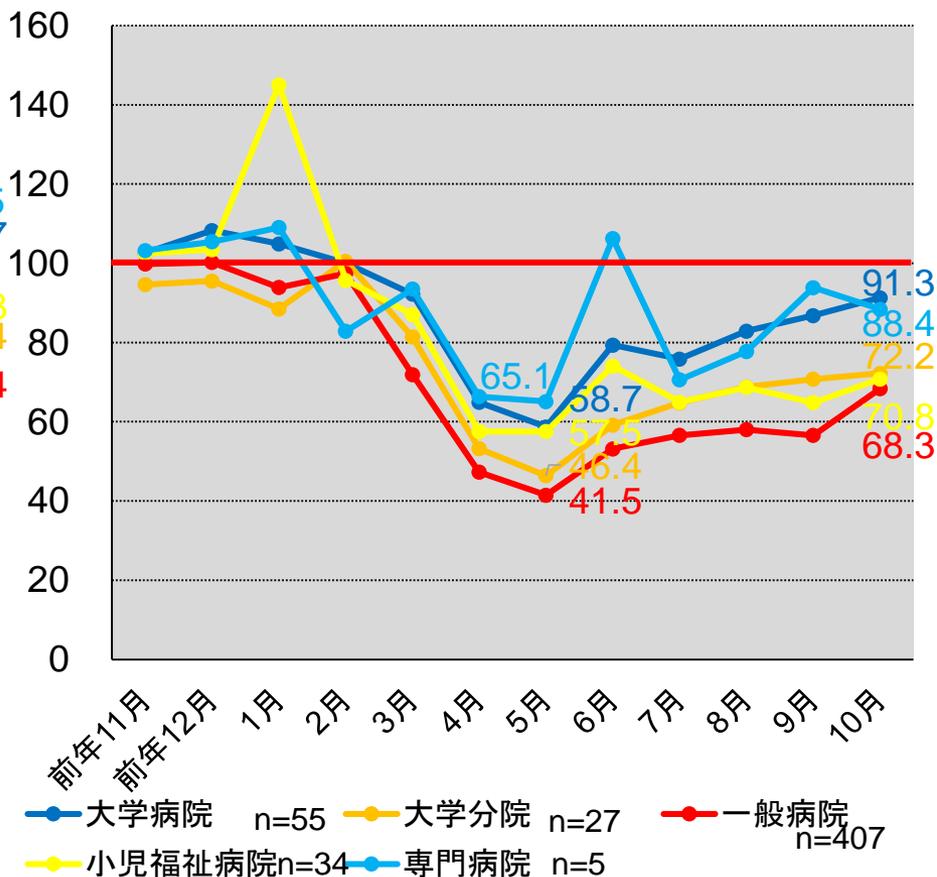
外来

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



入院

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



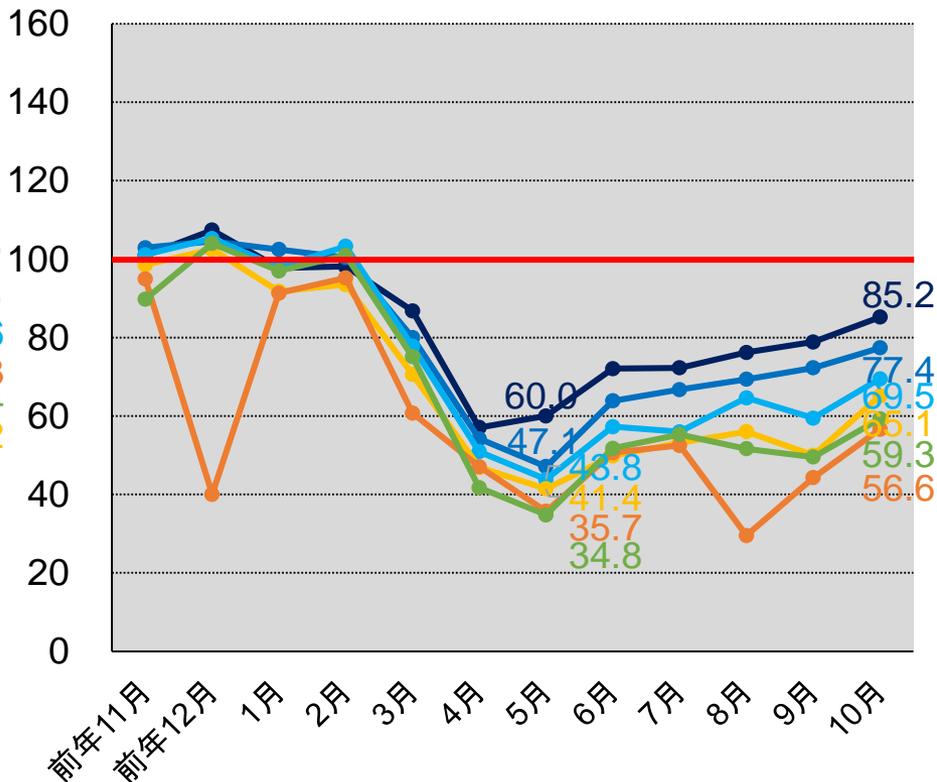
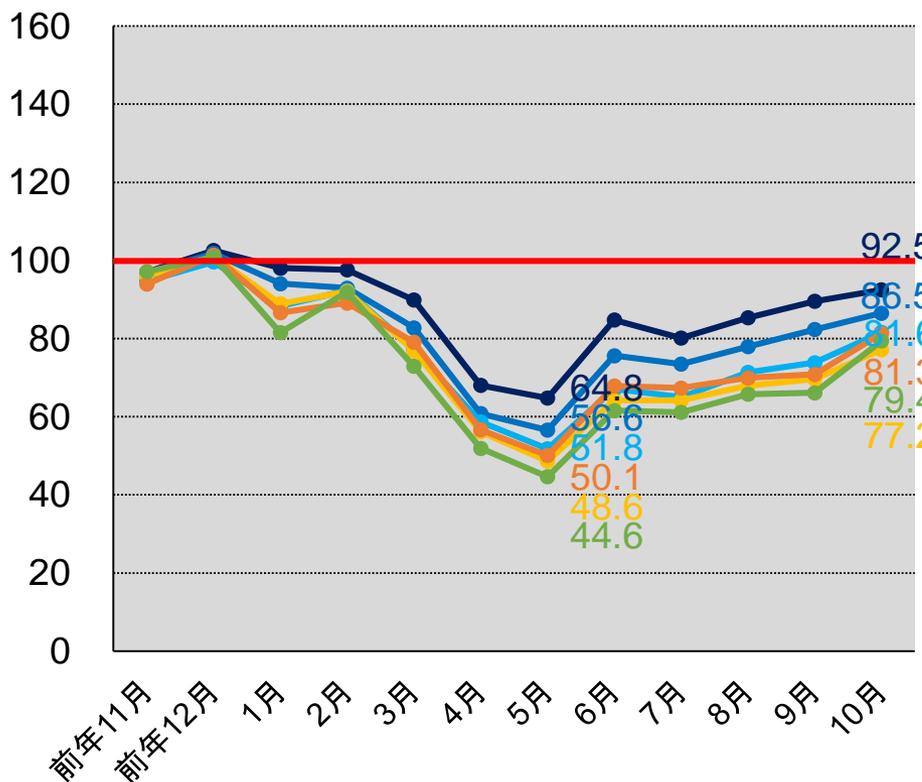
入院規模(小児入院医療管理料)と患者数

外来

入院

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



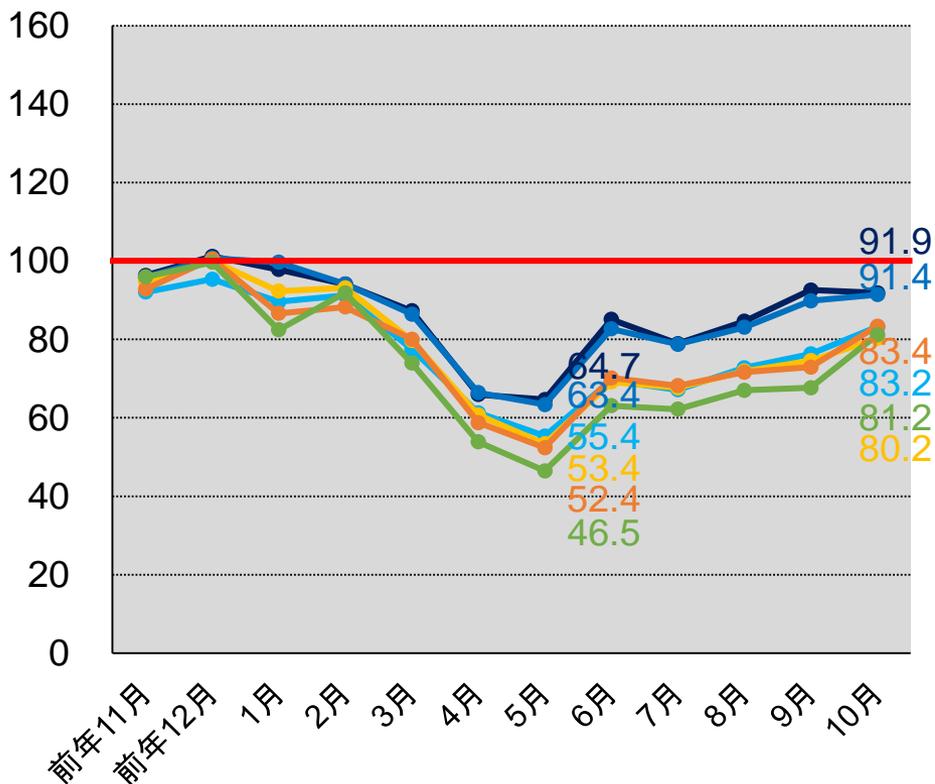
●管理料1 n=62 ●管理料2 n=111 ●管理料3 n=53
●管理料4 n=156 ●管理料5 n=46 ●算定なし n=182

●管理料1 n=61 ●管理料2 n=110 ●管理料3 n=51
●管理料4 n=155 ●管理料5 n=44 ●算定なし n=117

入院規模(小児入院医療管理料)と患者数一外来

時間内

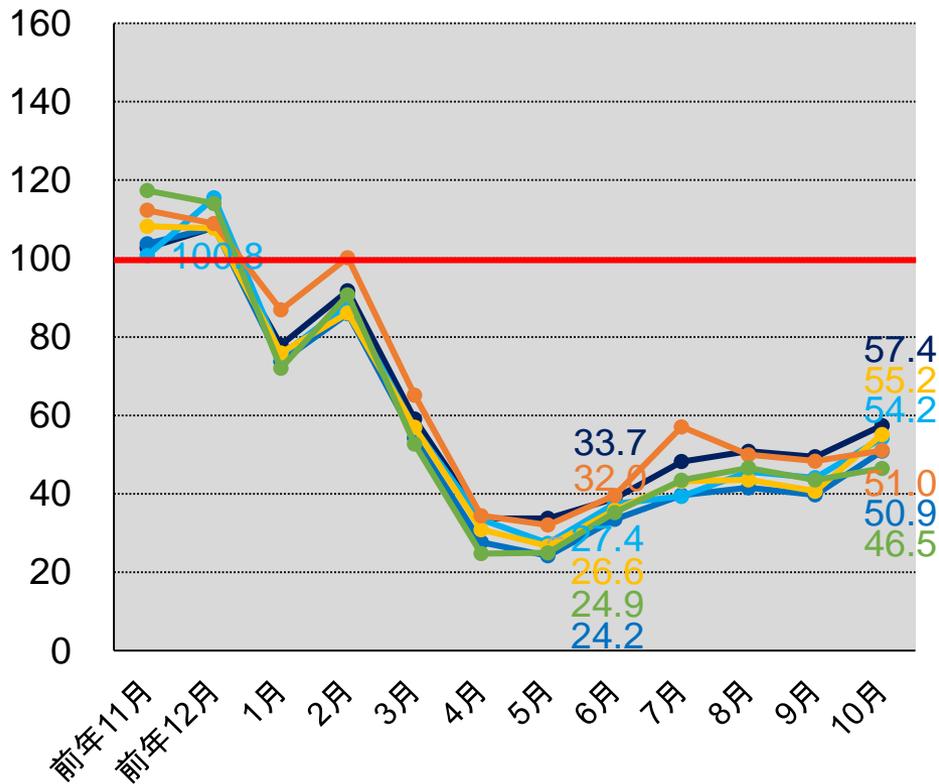
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



● 管理料1 n=61 ● 管理料2 n=111 ● 管理料3 n=51
● 管理料4 n=154 ● 管理料5 n=45 ● 算定なし n=176

時間外

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数

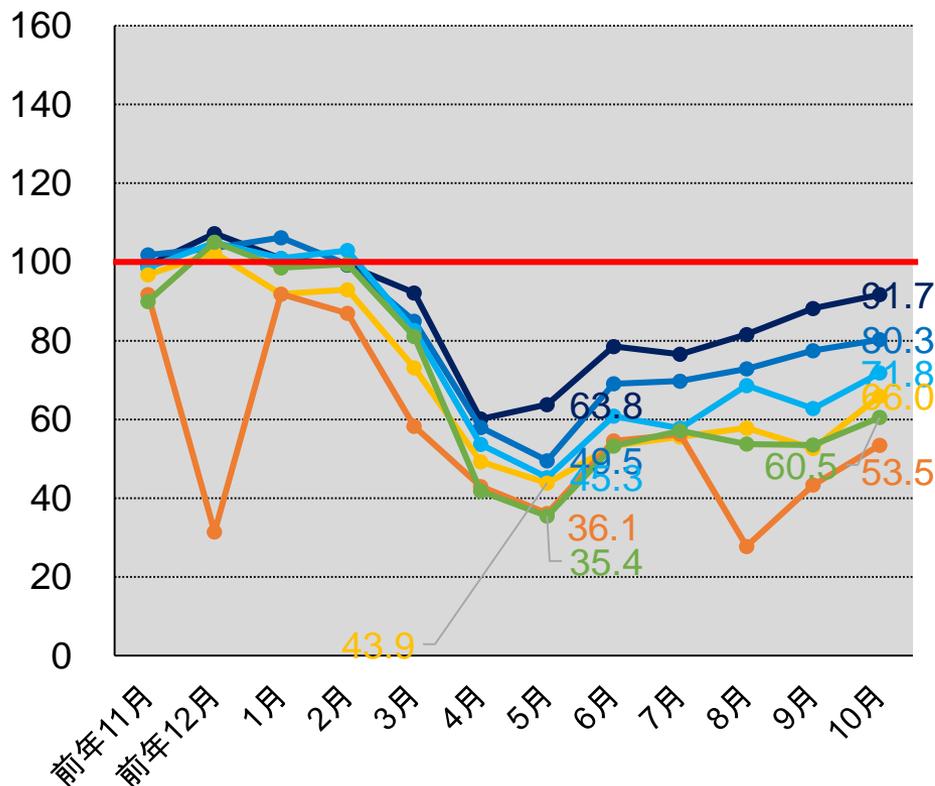


● 管理料1 n=59 ● 管理料2 n=110 ● 管理料3 n=50
● 管理料4 n=149 ● 管理料5 n=45 ● 算定なし n=179

入院規模(小児入院医療管理料)と患者数一入院

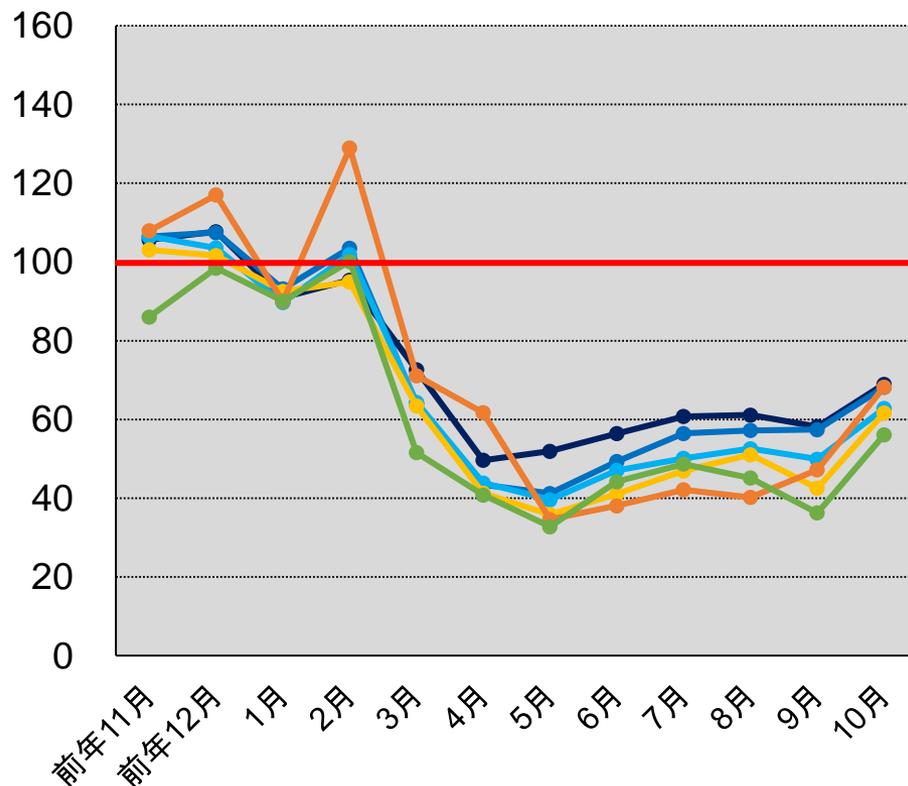
時間内

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



時間外

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数

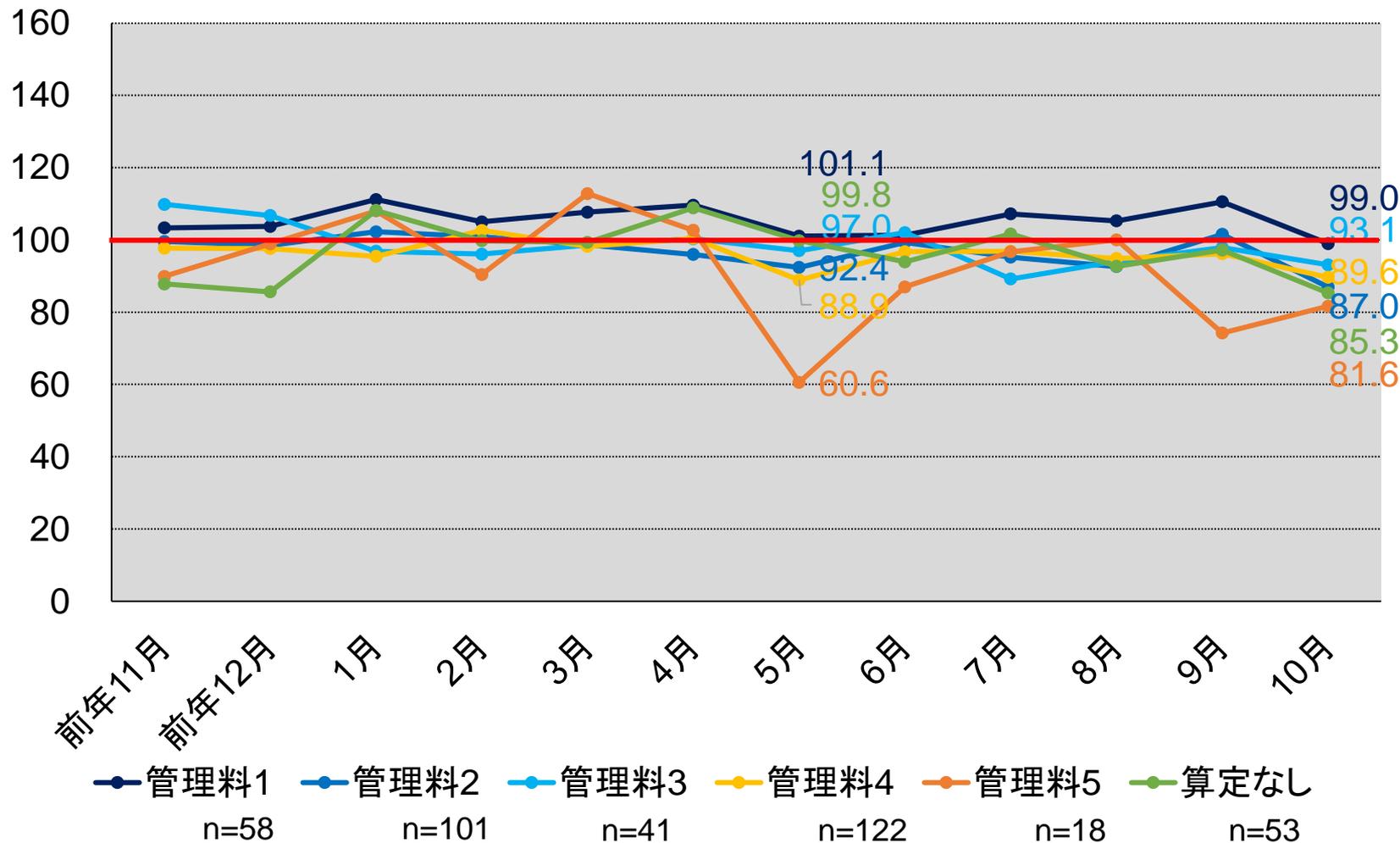


● 管理料1 n=61 ● 管理料2 n=110 ● 管理料3 n=51
 ● 管理料4 n=154 ● 管理料5 n=44 ● 算定なし n=116

● 管理料1 n=58 ● 管理料2 n=104 ● 管理料3 n=47
 ● 管理料4 n=138 ● 管理料5 n=34 ● 算定なし n=74

入院規模(小児入院医療管理料)と患者数—新生児

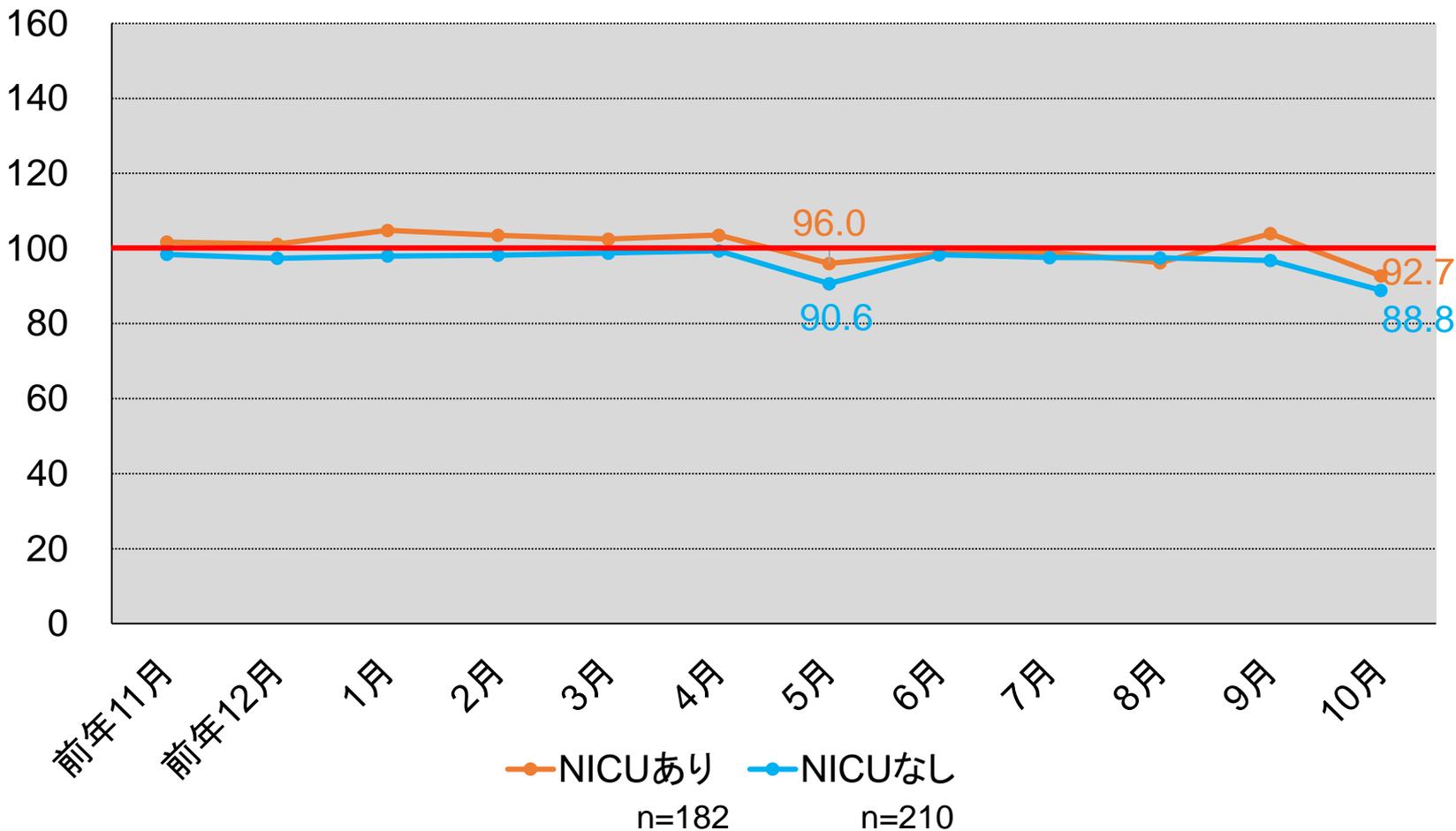
前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



NICUの有無と患者数—新生児

※ NICU管理料の算定は問わない

前年同月の患者数を100とした場合の該当月の患者数



調査結果のまとめ

- 病院における小児医療は新型コロナウイルス感染症の流行に大きな影響を受けて患者数が減少している
- 気道感染症をはじめとする急性疾患に関する項目は緊急事態宣言以降、算定数が減少していた
- 一方、手術や専門性を有する傷病は子どもであっても継続して診療が必要なため、徐々に患者数が回復する傾向にあった
- そのため急性疾患の入院や外来を担当することの多い小児科規模の小さな医療機関の方が、患者数減少の影響を受けている可能性がある
- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活環境の変化は、虐待や不登校等、子どもたちの心身に広く悪影響を及ぼしている可能性がある